

第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会ならびに第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（先鋒の部を除く）福井県選手選考会実施要項

（一財）福井県剣道連盟

1 趣 旨

全日本都道府県対抗剣道優勝大会ならびに全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会において、本県チームが入賞し、本県民の意識高揚と剣道の普及振興を図るために、福井県剣道連盟が予選会を開催し、選手を選考する。

2 日 時 令和7年2月16日（日） 午前9時～ 検量 午前9時30分～抽選

3 会 場 福井県立武道館 福井市三ツ屋町8-1-1

4 主 催 （一財）福井県剣道連盟

5 出場選手資格

（1）本県剣道連盟の会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。

（2）次の各部の学生・職域・年齢に適合する者を選考する。

第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

先鋒 ……高校生（男子）

次鋒 ……大学生（男子）

5将 ……年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く

中堅 ……教職員の者、年齢制限なし

3将 ……警察職員の者、年齢制限なし

副将 ……35歳以上の者、警察職員・教職員を除く

大将 ……50歳以上、剣道教士七段以上の者

第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（※現在のところ。変更があれば後日連絡します。）

次鋒 ……大学生（女子）※高専学生は4～5年生が出場可能。短大生も含む。

5将 ……年齢18歳以上の者 高校生・大学生を除く※大学院生・大学研究生・専門学生は含む。

中堅 ……年齢30歳以上の者 //

3将 ……年齢30歳以上の者 //

副将 ……年齢40歳以上の者 //

大将 ……年齢50歳以上の者 //

（3）年齢基準は、大会前日（男子4月28日、女子7月12日）とする。

（4）職業資格基準は、大会当日とする。（ただし女子の5将から大将の職業は問わない。）

（5）職業資格・高校生・大学生の資格基準は、大会当日とする。

（6）予選会出場は1ヶ所とし、違反した者は出場を取り消す。

（7）男子は監督1名、選手7名、女子は監督1名、選手7名とする。

（8）大学生の出場人数については、男女それぞれ各大学（県内外を問わず）4人以内とする。

よって、各大学にあっては、あらかじめ予選会を行うなどして出場者を決定すること。

なお、本予選会において上位4人を令和7年滋賀国民スポーツ大会に向けた強化指定選手（先鋒）に指定する。

6 試合・審判および試合方法

（1）全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。

（2）各部の試合はトーナメント戦またはリーグ戦とし、1位、2位を決定する。

（各部出場選手数が5人以上の場合は原則トーナメント戦、4人以下は原則リーグ戦とする。）

（3）試合は3本勝負とし、試合時間は男子先鋒（高校生）と女子は4分、男子次鋒以降は5分とする。

勝負の決まらない場合は、トーナメント戦については延長戦を行い、先に1本取得した者を勝ちとする。延長戦は3分区切りで延長3回で1回2分間の休憩を取り、勝敗の決するまで実施する。リーグ戦については引き分けとする。リーグ戦の順位の設定は、①勝ち数の多い者、②負け数の少ない者、③取得本数が多い者とし、それでも同率の場合は、2人の場合は当該者による決定戦（1位2位を決める場合のみ）、3人以上については、抽選を行い、トーナメントによる決定戦を行う。決定戦については上記延長戦の要領とする。

- (4) 高校生男子については、令和6年11月15・16日福井県高等学校新人大会（個人戦）ベスト16の選手から選考する。（1位、2位の2人を分ける。その後3位の2人を抽選後、5位以下の12人を抽選する。）
- (5) 高校生女子については、6月の県高校総体個人戦優勝者を選考することとする。
- (6) 女子選手の選考について
 - ※ 選手の登録は、年齢順とするため、申込後の選手変更によってはオーダーの順番が変更となる場合がある。
 - ※ 中堅と3将は一括して試合を行い、上位2名を選考する。
 - ※ 各年代に必要な数の参加がなかった場合は、上の年代の次点者を選考する。

7 出場選手の申し込み等

- (1) 令和7年2月3日（月）正午までに、各自で下記のQRコードから直接申し込むこと。
- (2) 出場場選手については各地区剣道連盟等に連絡する。

8 その他

- (1) 健康管理について
 - 本選考会参加者は、平素から健康管理に努めること。
 - なお、発熱や体調不良等がある場合は出場を自粛すること。
- (2) 選手は、面マスク（鼻も覆う）、またはマウスシールドを着用することとする。
- (3) 諸般の事情により実施できない部門があった場合には、別途実施する。
- (4) 観客者については2階観覧席で観戦することとし、1階競技場へは立入禁止とする。
- (5) 本大会において疑義が生じた場合は、会長に一任し、処理するものとする。
- (6) 本要項については県剣道連盟ホームページに掲載する。
- (7) 剣道大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下の通りとする。
- ①竹刀等については次の事項を遵守すること。
 - 参加者は、午前9時～午前9時30分の間に、受付・竹刀検量を済ませること。
 - ・検量は表1、表2及び図のとおり実施する。
- ②小手については次の事項を遵守すること。
 - ・小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指部および小手指とん部は打突の衝撃緩衝能力がある。
 - ・小手指とん部のえぐり（クリ）の深さについては小手指とん最長部と最短部の長さの差が、2.5cm以内である。
- ③面については次の事項を遵守すること。
 - ・面ふとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- ④剣道着については次の事項を遵守すること。
 - ・剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
 - （構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

性別		長さ (全長)	重さ	太さ	
				先端部最小直径	ちくとう最小直径
男子	一般・大学生	120cm以下	510g以上	26mm以上	21mm以上
	高校生	117cm以下	480g以上	26mm以上	21mm以上
女子	一般・大学生	120cm以下	440g以上	25mm以上	21mm以上
	高校生	117cm以下	420g以上	25mm以上	21mm以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ（高校生・大学生・一般共通）

性別		長さ (全長)	重さ	太さ	
				先端部最小直径	ちくとう最小直径
男子	大刀	114cm以下	440g以上	25mm以上	20mm以上
	小刀	62cm以下	280g~300g	24mm以上	19mm以上
女子	大刀	114cm以下	400g以上	24mm以上	20mm以上
	小刀	62cm以下	250g~280g	24mm以上	19mm以上

図 竹刀の先皮長、先皮先端部最小直径、ちくとう直径値の計測方法

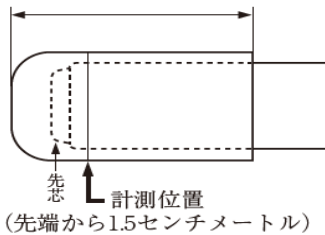
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ（高校生・大学生・一般共通）

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	250~280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

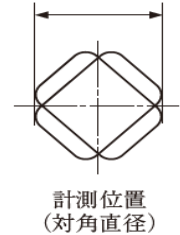
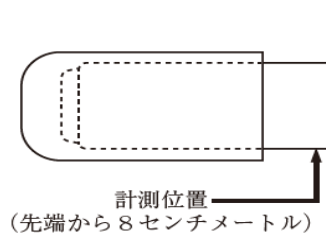
図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



【申込QRコード】



URL: <https://forms.gle/KDJBGCPM49Lou9Fn7>